

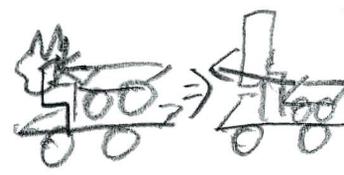
# ROBOCON REPORT 2021 by Young Maker



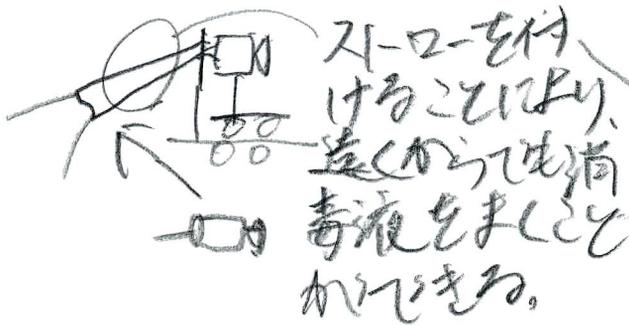
この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスのドに提供されています。

<b>学校名</b>	埼玉大学教育学部附属中学校		
(ふりがな) <b>チーム名</b>	かえりてい YASS		
<b>ロボコンルール (名称とURL)</b>	名称：新型コロナ撲滅オペレーション <a href="#">ルールホームページ</a>	<b>都道府県名</b>	埼玉県
<b>製作期間</b>	2020年 9月頃から2020年 12月頃まで	<b>製作時間</b>	10時間
<b>ロボットに関する写真と図</b>  必ず、ロボットの概要や機構等の特徴がわかる写真や図等を1~4枚で掲載する。  写真や図に記号等を書き込み、下の枠「ロボットのアイデア概要」で解説する。			
<b>ロボットのアイデア概要【報告書要約】</b>  どのような動きを実現するために、具体的にどのような素材や機構を用いて実現したのか、枠いっぱい解説を書き込むこと。	① 安定して机をひけるようにするためにキャタピラにした。 ② 消毒液を高いところから噴射することで少ない回数で広範囲に行き渡るようにした。 ③ 消毒液を出した後 上の車の向きを変えずにそのまま机をひけるようにするために 消毒液に押される側の柱の幅を広げた。 ④ 上の車が動いてから下の車が軽すキで動かないようにするためにおもりを置いた。 ⑤ 上の車がスムーズに机の上ののぼれるようにゆるやかな坂道を作った。 ⑥ ふきんを上の車に固定することで走りながらいくことができるようにした。 ⑦ 下の車のタイヤは安定した走りと急な方向転換に対応できるように緑色のタイヤにした。 ⑧ 一度に多くの消毒液を噴射できるように注射器を用いた。 ⑨ 注射器が噴射されるころの先にストローをつけることにより遠くからでも机に届くようにした。 ⑩ 注射器のあの部分に竹くしをつけることにより幅がせまくなるようにした。		
<b>参考資料</b>  製作上参考にした資料や、参考にした先輩のロボット等の情報についてできるだけ詳しく解説する。	オリジナル		

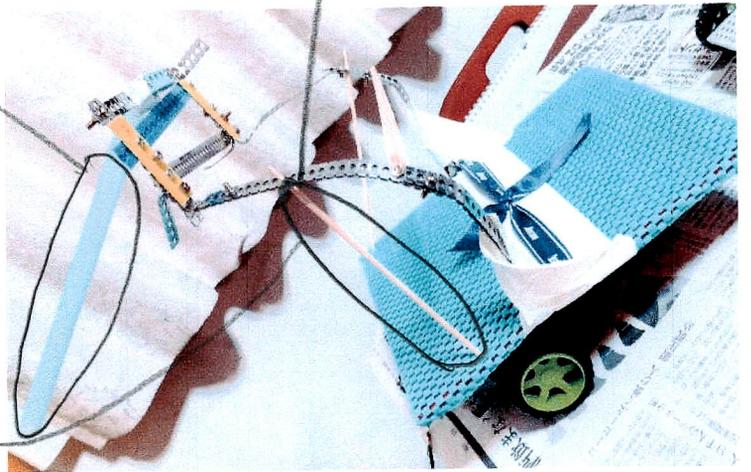
報告書の2枚目以降にさらに詳しく自由フォーマットで記入する。この用紙を入れて11枚以内で報告書を作成すること。



竹串を使うことで固  
定し、下をくり抜け、  
その針の軸が通れ  
るようになった。



力を入れて高さをしっかりと確保できる  
ため、70°ほどで広範囲にセンサー  
できる。

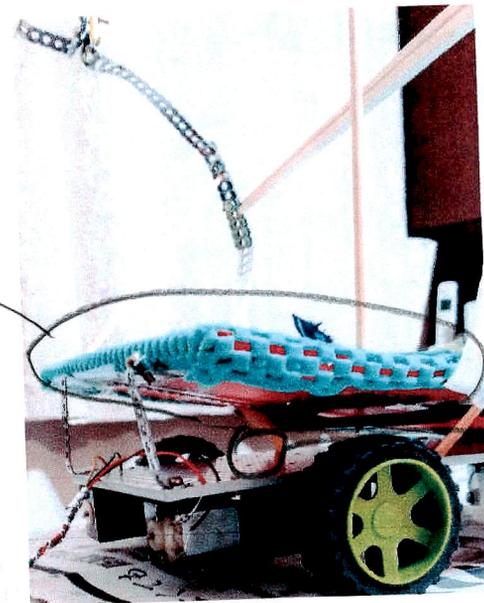


+  
70°ほどで押すのに力が必要  
だが、注射器から圧力の力  
で押せる。

<下から> <横から> 軸体の  
○と○下に進行方向  
と斜めに穴を  
をつける→一度に広  
い幅をふとこかしてやる。



板に貼る→机に対しての  
上下動作を不要に貼  
+  
滑り止めを付けることで、  
車輪が停止中軸がな  
い原因をなくした。



下の車輪がずれないように  
(重量を大きくするために)  
おもりをつける